

丹波市多文化共生推進基本方針

丹波市に 住む外国人市民は 増えています。また、定住化(=同じところに住み続けること)も 進んでいるため、地域、学校、職場など色々な
場所 で 困りごとが 出てきています。そのため、外国人市民を 少しの間 だけ住んでいる人ではなく、「生活者」として 考えることが大切です。
丹波市は、「丹波市多文化共生推進基本方針」をつくり、「外国人市民が 安心して 日常生活を 営み、地域の 一員として 支え合う、誰もが
暮らしやすいまち 丹波市」をめざし、取り組みます。

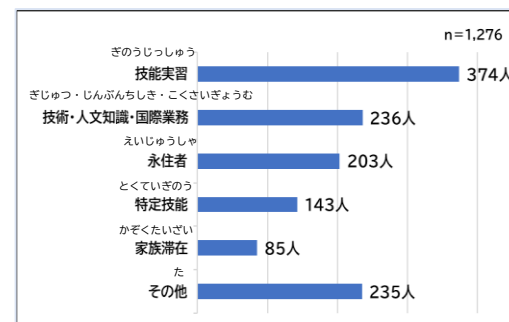
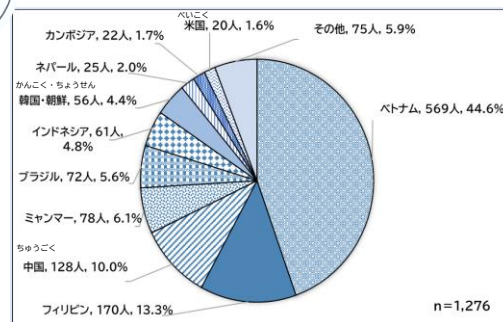
丹波市の外国人市民の状況

【外国籍の市民の推移(=時間とともに変わる様子)】
丹波市住民基本台帳のそれぞれの年の3月31日の時



人数、割合が 増えています。今は 丹波市の 2%以上が 外国人市民です

【国籍別・在留資格別の人数】 丹波市住民基本台帳2024年3月31日の時



ベトナム、フィリピン、中国の 順で 多いです。一番多いベトナムは 全体の 44.6%です。
技術・人文知識・国際業務や特定技能などの 働くための 資格が 多いです。

アンケート調査結果から見る課題(=解決しなければならない困りごとのこと)

【外国人の人権に関すること】 30%以上の人が、外国人市民への 差別・偏見を 見たこと、聞いたことが あると 答えています。

【生活環境】 外国人市民の 生活の 困りごととして、「必要な 情報が 受け取れない」、「日本語での コミュニケーション」が 多いです。

【日本語能力(=日本語を使う力)】 外国人市民の 日本語能力(聞く、話す)は、「単語だけは わかる」が 1番多く、2番目は「日常会話なら できる」です。

【地域との関わり】 70%以上の人が「外国人市民との 間に 壁がある」と 答えています。一番大きな壁は「言葉の違い」です。

アンケート調査の結果は二次元
コードからみることができます↓



基本理念(めざす姿)ー

外国人市民が安心して日常生活を営み、地域の一員として支え合う、誰もが暮らしやすいまち 丹波市

様々な場面におけるめざす姿

- 【地域】外国人市民と日本人市民が交流し、お互いに理解を深め、支え合いながら暮らしています。また、外国人市民が地域社会の一員として活躍しています。
- 【学校】すべての子どもが互いの違いを認め合い、多文化共生意識を深めています。また、外国に繋がりのある子どもたちが自分らしく、安心して学校生活を送っています。
- 【職場】言語や文化などの違いに配慮(=気持ちや状況を考えて行動すること)した職場づくりが進み、外国人市民が能力を十分に発揮し活躍しています。
- 【公共施設・機会】外国人市民が、言葉の壁なく、公共サービスや行政情報を受けています。また、市民向けの多文化共生意識や国際理解(=色々な国のことを理解すること)を深める機会が多様にあります。

取組方針(=これからやることの考え方)

人権の尊重

市民一人ひとりの人権が守られて、幸せに暮らせる社会をつくるために、偏見や差別をなくすための啓発(=知識を広めて気づかせること)・教育を行います。

取組の例

- ・セミナーやパネル展示などで啓発すること
- ・地域、学校、職場などのあらゆる場を通じた人権教育の推進(=物事が進むようにすること)

生活支援

外国人市民が安全に安心して暮らせるよう、言語や文化、習慣などの違いに理解を深め、外国人市民に対応した取組を推進し、外国人市民の生活環境をより良くします。

取組の例

- ・やさしい日本語で書かれた生活ガイドブックをつくること
- ・外国人からの相談に対応する技術を磨く研修をすること

コミュニケーション支援

日本語での会話などに課題がある外国人市民にコミュニケーション支援を行います。また、日本語の学習が必要な外国人市民が学習できるよう、地域の日本語教育を推進します。

取組の例

- ・機械(タブレット)による通訳システムの活用
- ・新しい日本語教室をつくること、日本語学習支援者を集めること

地域における多文化共生の推進

同じ地域の一員としてお互いを大切に、外国人市民が「生活者」として地域社会へ参画できるよう、多文化共生意識の啓発を行います。また、外国人市民と一緒に行う地域の活動を推進します。

取組の例

- ・外国人市民と日本人市民の交流イベントを開くこと
- ・外国人市民、地域、市内の事業所などによる多文化共生のネットワークをつくること

丹波市国際交流協会を知っていますか？

丹波市国際交流協会は、生活の相談や日本文化を体験するイベント、日本語教室の運営など、外国人市民の方が安心して暮らせるようお手伝いをしています。おなじ丹波市で生活する市民として、みんなで助け合う気持ちを大切にしていきたい。

右の二次元コードから丹波市国際交流協会の活動を見ることができます。



日本文化体験イベントの様子



春日日本語教室の様子

「多文化共生」の定義

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。(総務省:「多文化共生の推進に関する研究会報告書」から)

「外国人市民」の定義

外国籍の市民、外国にもルーツを持つ市民を「外国人市民」と記載しています。

丹波市多文化共生推進基本方針の全文は右の二次元コードからみることができます。

